

## EMAK 第9回ワークショップ開催

### 【事業概要】

経済産業省は、一般財団法人省エネルギーセンターに委託事業を依頼し、EMAK（Energy Management Action Network）のワークショップを以下の通り、2018年11月、ブラジル サンパウロにおいて開催しました。

- (1) 目的：先進的エネルギー管理事例の情報共有と普及拡大及びエネルギー管理に関する官民関係者のネットワーク構築
- (2) 内容：成果は以下の3点であった。
  - ① 2018年3月に完了した日伯省エネ協力事業の概要と成果の報告。  
伯国内省エネ推進の為に官民による機能的な体制を構築した。また伯の協力企業4社でエネルギー管理システムを構築し省エネ事例を展開。同時に簡潔な節電ガイドを作成。
  - ② 伯全国工業連合（Confederação de Nacional Indústria. The Brazilian National Confederation of Industry: CNI）が実施している産業の省エネプロジェクトや協力事業と協調した伯政府の省エネプログラムの紹介。
  - ③ 日系ブラジル3企業とチリ1企業の先進的エネルギー管理システムと実施された省エネ技術の共有。
- (3) 結果：全発表者が参加したパネル討議とワークショップ参加者の意見交換により、EMAKの今後の方向性と日本の可能な協力をまとめて、ワークショップの結論とした。



パネルディスカッションの様子



参加者の集合写真

EMAKは2009年G8にて設立されたIPEEC（国際省エネルギーパートナーシップ）のタスクグループの1つで、日本をリーダーに11カ国が参加。加盟国間の産業用エネルギー管理の優秀事例の共有と政府省エネ政策担当者及びエネルギー管理従事者間のネットワーク構築を目的としてワークショップを2010年以來9回実施し、今回初めて南米で開催しました。

ワークショップ参加者72名に加えインターネット中継を通じた7カ国からの参加者を得て、情報の共有を行い、官民の関係者間のネットワークを構築しました。

産業用エネルギー管理の優秀事例の共有では、EMAKの今後の方向性として、企業の動機付けを進め共有事例を拡張すること、エネルギー管理の標準化・質の向上としてサプライチェーンでの活用が認識されました。ネットワーク構築では、事例共有に必要な情報システムや各国ネットワークの地域における連携の必要性が指摘されました。

日本が可能な協力として、ワークショップを通じた省エネ推進に係る情報（政策・制度、官民連携プログラム、蓄積された優秀事例、先進的省エネ技術）の提供と省エネ推進に係る人材育成が抽出されました。